

NXグループ サステナビリティハンドブック

～豊かな未来を創る私たちの約束～



NX
NIPPON
EXPRESS

We Find the Way

はじめに

私たちの約束

私たちの企業理念には、“物流を通して社会に貢献し、豊かな未来を創る”という強い意思が含まれています。

“豊かさ”の定義は時代に応じて変わります。変化の激しい時代において、社会に貢献し社会から求められる存在であるためには、人や社会のあり方を見ながら、時代に求められる価値を創出し続ける必要があります。

私たちは、長い年月をかけて物流を通じて新たな価値を創り、世界中でお客様のビジネスとサプライチェーンを支えてきました。これまで重視してきた安全・コンプライアンス・品質への高い意識や、常に最善の方法を追求しながら社会インフラを支え続けてきたことは私たちの誇りであり、未来に引き継ぐべき価値と捉えています。

私たちは、この変わらない価値に加え、今の時代に最も求められている豊かさである“サステナビリティ”に、業界リーダーとして責任を果たす気概を持ち、NXグループらしく取り組んでまいります。



私たちはこれからも創意工夫を繰り返し、新しい道を切り拓き続けます。
物流が社会を豊かにしていく原動力であることを信じて。

1937年の創業から、私たちNXグループは「ものを運ぶこと」を通してお客さまを結び、社会の持続的発展に貢献してきました。時代を経て、活躍の場が世界各地へと広がる現在も、変わらぬ使命感のもと、新たな挑戦を続けています。



物流を通じた社会の持続的発展への貢献

東京オリンピックを運ぶ

オリンピック大会公認運送人に指定され、輸送に関する様々な要請に応えました。



「モナ・リザ」を運ぶ

当時、アメリカに渡った以外は門外不出であった名画を上野・東京国立博物館へ輸送しました。



東日本大震災で 救援物資を輸送

24時間体制で陸・海・空の輸送モードを駆使した輸送を行い、トラック台数にして延べ6,810台の支援物資を輸送しました。



モーダルシフト取り組み 優良事業者賞(継続部門)を受賞

2003年度から12年連続で幹線区間における貨物総輸送量のうち鉄道・海運の利用比率が40%を超えており、継続賞を受賞しました。



新幹線を運ぶ

1964年の新幹線開通以来、ずっと輸送を行ってきました。



阪神淡路大震災で 救援物資を輸送

指定公共機関としてトラック延べ3,200台、貨物船延べ225隻を投入し、救援物資を輸送しました。



国立天文台「すばる望遠鏡」を 運ぶ

すばる計画に関わるほとんど全ての貨物の輸送を担当しました。



医薬品物流に本格参入

国内外で専門人財とインフラを整備。GDP(医薬品の適正流通基準)に準拠し、医薬品の安定供給をグローバルでサポートしています。



1964

1974

1995

1998

2011

2015

2021

サプライチェーンをグローバルで支える

- 1937 日本通運株式会社を創設
- 1962 初の海外現地法人米国日通を設立
- 1973 シンガポール日通を設立
- 1977 オランダ日通を設立
- 1994 上海日通を設立
- 2007 インド日通を設立
- 2014 海外拠点数500拠点を突破
- 2015 海外従業員20,000名を突破
- 2022 ホールディングス体制への移行



「ものを運ぶこと」は、人と社会、今日と明日を結ぶこと。
活力ある社会、より良い未来にむけ、私たちは進化を続けます。

グループ企業理念には「物流を通して社会に貢献し、豊かな未来を創る」という想いがあります。

NXグループサステナビリティビジョンは、3つの価値を創出していくことでその実現を目指すことを示したものです。

NXグループ 企業理念

私たちの使命 それは社会発展の原動力であること

私たちの挑戦 それは物流から新たな価値を創ること

私たちの誇り それは信頼される存在であること

NXグループ サステナビリティビジョン(3つの創出価値)

事業を通じて世界の人々のより良い暮らしと持続可能な社会の発展を支える

社会的価値

安心・安定の提供／働く人の幸せ
労働衛生と共に、サプライチェーンを通じて人権を尊重し、社会的・公共的な使命を自覚して誰もが安心して暮らせる社会を実現します。

環境的価値

地球環境の保全

事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減による気候変動の緩和や指定公共機関の責務として災害時等の緊急輸送対応に取り組んでいます。また、資源循環や生物多様性の保全にも事業活動を通じて積極的に取り組んでいます。

経済的価値

NXの持続的成長

他の企業との協働・共創や地域社会との繋がりを深めることによって新たな価値を生み出し、社会から信頼される存在であることで、NXの持続的成長を実現します。

大切にしている価値観、そして、たゆまぬ行動の道しるべ。
一人ひとりが規範意識を持ち、行動します。

様々な場面を通じ、社会課題の解決に取り組むことが企業に求められています。

私たちは社会と共に持続的に成長するため、解決すべき5つの重要課題を特定しています。

事業を通じてこれら重要課題を解決することで、サステナビリティビジョンの実現に挑戦します。

人権の尊重と責任ある
企業活動の実現

サステナブル・ソリューションの
開発・強化

グローバル・
サプライチェーンの強靱化

気候変動への対応強化

イノベーションを生む
人財力の向上

社会の期待、時代の流れを見据えた5つの約束。
グループ一体となって取り組んでいます。





サステナブル・ソリューションの開発・強化

社会の期待

「サステナブルな社会」の実現は人類共通の課題です。その実現にむけた社会、環境面からの取り組みが、企業には強く期待されています。

当社グループは、物流を通じて社会の発展を支える存在として、お客様が直面するさまざまな課題を解決するサービスの開発・提供を推進していきます。

深く関わるNXグループの創出価値

✔ 環境的価値 ✔ 経済的価値

私たちの挑戦

施策	取り組み事項
マテリアリティ・ソリューションの強化	顧客の重要課題の把握とソリューションの検討  NEXT PAGE
脱炭素ロジスティクス・ソリューションの強化	モーダルシフトの拡大 低炭素輸送の開発・提供 顧客のCO ₂ 排出量可視化
DX推進によるロジスティクス・ソリューションの強化	共創パートナーおよび新規事業のタネ発掘と創造  NEXT PAGE DX人財の育成強化

私たちの約束 持続可能な社会の実現へ、物流から新たな価値を創り続けます

代表的な取り組み事例

サステナブル・ソリューションの開発・強化

日本通運

アサヒ飲料様と日清食品様との 共同輸送開始

茨城県内に生産工場を持つ、アサヒ飲料株式会社様と日清食品株式会社様は、パレットサイズの異なる両社製品を日本通運のトラックに混載するスキームを確立し、関東~九州間において共同輸送を実施しています。本スキームでは、ドライバーの荷役作業の大幅な軽減に加え、個別に製品を輸送していた従来の方法に比べトラックの使用台数を20%削減します。これにより、トラックドライバーの人手不足への対応によるお客様への持続可能な物流サービスの提供、当社のScope 1およびお客様のScope 3のCO₂排出量削減に貢献しています。



アサヒ飲料様
ご担当者



環境面のみならず車両活用策の一つとして取り組んでおり、混載方法や製品養生方法のご支援等を頂く中、実務面では製造計画や在庫状況を考慮した混載対象製品を決定する必要があり、担当者のスキルや腕の見せ所です。

日本通運様がこれまでに培った輸送ノウハウで、天面の高さが異なる等の運用上の課題を解決して頂けたため、重×軽混載による複合積載率の高い効率的な輸送を実現することが出来ました。

日清食品様
ご担当者



NIPPON EXPRESSホールディングス

フォークリフト自律遠隔搬送ソリューションを NEC様と共同開発

NIPPON EXPRESSホールディングスは、フォークリフトを活用した倉庫内作業の自律遠隔搬送ソリューションを日本電気株式会社様（NEC様）と共同で開発しました。

このソリューションは、搬送ルートの自動設計や自律搬送により、物流倉庫における搬送作業の効率性と安全性を向上させます。また、複数拠点にある複数台のフォークリフトを遠隔から少人数で集中管理できるようにすることで、人手不足を解消し、お客様への安定的な業務の提供、社員の効率的で柔軟な働き方の実現に貢献していきます。



自律遠隔制御対応のフォークリフト

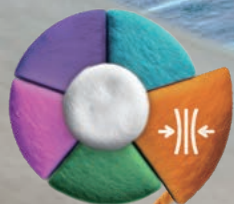
NXグループは、全世界に拠点を保有しています。将来的には、時差を活用することで24時間の遠隔操作が可能となります。

また、NECはAIや画像認識、ネットワークの分野で高い技術を持っています。両社の強みを生かし、一企業だけでは難しい新たな市場を確立したいと考えています。

NEC様
ご担当者



その他各グループ会社の取り組みはこちらをご覧ください。
<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/materiarity/sustainable-solutions/initiatives.html>



グローバル・サプライチェーンの強靱化

社会の期待

経済活動や日常生活を支える担い手として物流は不可欠な役割を担っています。とりわけ近年は自然災害・感染症・サイバーテロ・慢性的な人手不足などを背景として、さまざまなリスクが顕在化しており、物流の強靱化や効率化に対する社会の期待は高まっています。

NXグループはリスクマネジメントや、事業継続、ロジスティクスの一層の効率化などの取り組みにより途切れない物流サービスを提供し、お客様のサプライチェーンを維持・強化するとともに、社会基盤を支えます。

深く関わるNXグループの創出価値

✔ 社会的価値 ✔ 経済的価値

私たちの挑戦

施策	取り組み事項
リスクに対する事業基盤の強化	- 安定的な事業継続のためのリスク管理 👉 NEXT PAGE - 非常時の事業継続のための危機管理
ITインフラの整備とセキュリティレベル向上	- ITインフラにおける非常時への対策強化 - サイバーセキュリティの強化
DX推進によるロジスティクスの高効率化、高品質化、高収益化	- 業務の効率化 👉 NEXT PAGE - データ利活用によるリソース最適配置 - DX人財の育成強化

私たちの約束

途切れない物流サービスで、世界の人々の暮らし・社会発展を支えます

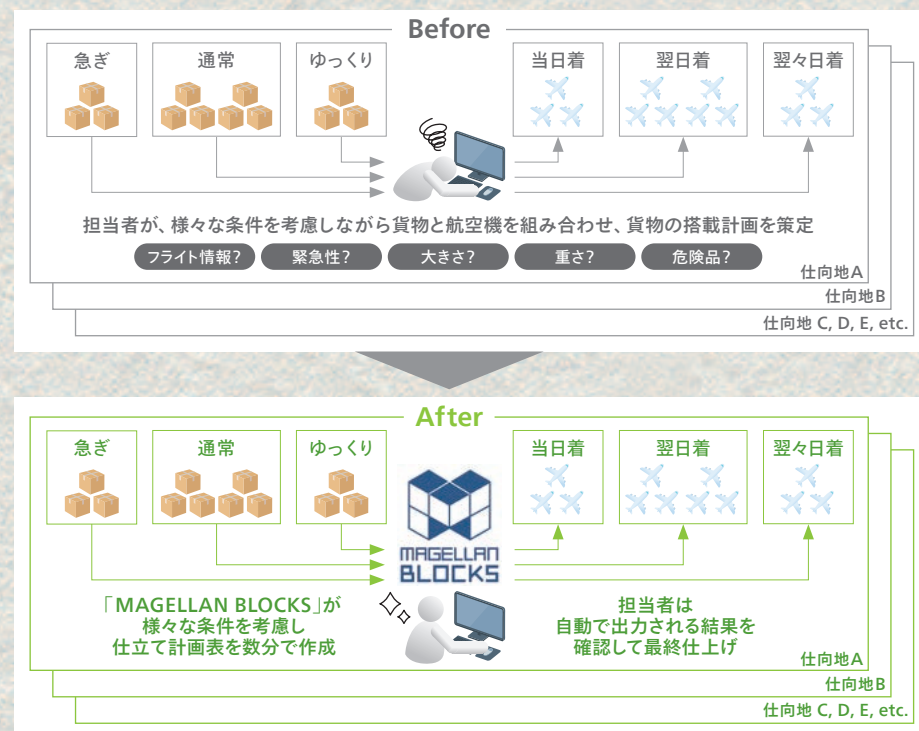
代表的な取り組み事例

NXグループ

航空貨物の混載仕立て業務の自動化に向けた検証を実施中

AIと量子技術の活用により強みを持つ株式会社グルーヴノーツが提供するクラウドプラットフォーム「MAGELLAN BLOCKS (マゼランブロックス)」を活用し、今まで実現が困難とされてきた航空貨物の混載仕立て業務※の自動化の取り組みを進めています。

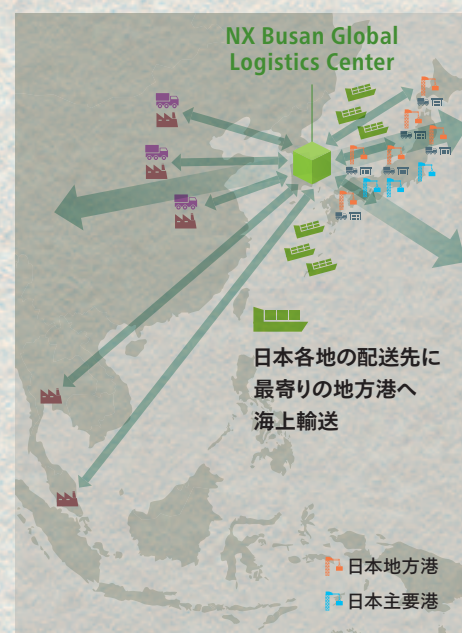
※ 航空輸送における混載仕立て業務：複数のお客様の貨物を仕向け地別に組み合わせ、パレットやコンテナなどの輸送単位にまとめる業務。



NX中国／NX韓国

地方港の活用による2024年問題への対応

NX国際物流(中国)有限公司およびNX韓国株式会社は、日本の地方港との航路が充実した韓国の釜山に在庫を保管し、受注後、日本各地の配送先に最寄りの地方港へ海上輸送する新たなサービス「釜山ハブ×日本地方港」を展開しています。本サービスは、これまで大都市近郊の主要港を経由して日本各地に輸送されていた輸出入貨物を、最寄りの地方港へ輸送することで、日本国内のトラック輸送距離を短縮するため、2024年問題の解決策として効果的であるほか、CO₂排出量も削減可能となります。



当社の強みである日本の地方港ネットワークと韓国釜山のグローバルハブ倉庫の機能を活用したサービスとして2023年9月にリリースしました。ドライバー不足および環境商品の観点からさらに活用が進むことを期待しています。



NX中国 東アジアリージョン本社
グローバル事業本部
許斐



気候変動への対応強化

社会の期待

気候変動問題が深刻化する中、国や地域、組織といった枠を超え、サプライチェーン全体で脱炭素化実現への挑戦が続けられており、とりわけCO₂排出量が多い物流企業の脱炭素への取り組みに対する期待は大きくなっています。

NXグループは地球環境の保全を事業存続の前提の一つと位置づけ、サプライチェーン全体でCO₂排出量を削減し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献することを目指しています。

深く関わるNXグループの創出価値

✓ 環境的価値

私たちの挑戦

施策	取り組み事項
Scope1の削減	環境配慮車両の導入  NEXT PAGE
Scope2の削減	省エネ：LED 照明切替等 創エネ：再エネ発電設備の導入促進  NEXT PAGE 再エネ：環境価値の利用などによる再エネ由来電力の使用
Scope3の削減	モーダルシフト サプライヤーエンゲージメントの取り組み

私たちの約束

事業の脱炭素化を加速し、地球環境の保全に貢献します

代表的な取り組み事例

NXグループ

グループ・グローバルでの環境配慮車両への切り替え推進

NXグループは、グローバル全体でEVやFCV、ハイブリッド車などの各種環境配慮車両の導入を積極的に推進しています。2023年12月末現在、日本国内のグループ会社が保有する環境配慮車両は12,811台です。

グループ各社における環境配慮車両導入例

日本通運 水素燃料電池トラック(FCEV)を関東甲信越ブロック東京支店・FBU(航空)(海運)に計20台導入。

NXアメリカ 電気自動車(EV)トラックを2024年5月に初めて導入。2024年度中に14台を導入予定

**NXタイ
ロジスティクス** 電気自動車(EV)トラックを
2024年1月に初めて導入



NXアメリカで導入したEVトラックヘッドと53フィートコンテナ



NXアメリカ Logistics Management Division
亀谷 健二

EVトラックは、従来のディーゼルトラックよりもコストが掛かりますが、より適切なルートを作ることで全体の輸送コストの削減が可能です。2024年12月には、新たなシステムを導入し、お客様が当社のEVトラックを利用することで、CO₂削減量をより簡単に算定できるようになります。

NX欧州

環境に配慮したロジスティクスセンターの拡大

NXグループは、物流センターに太陽光や風力などの各種再生可能エネルギー発電設備を導入し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

NX欧州有限会社のスキポール・エアポート・ロジスティクスセンター(オランダ)は、さらに一歩進んで、環境問題だけでなく社会課題も対象とする世界で最初の建物の環境認証制度の一つであるBREEAM (Building Research Establishment Environmental Assessment Method) 認証を取得しました。



スキポール・エアポート・ロジスティクスセンター



イノベーションを生む人財力の向上

社会の期待

社会が急速に変化する今、従業員を大切に育て、その意欲を伸ばし、共に成長する仕組みを作る「人的資本経営」への期待が高まっています。

物流を通じて社会インフラを支えるNXグループにとって、人財こそが競争力の源泉です。当社グループは、従業員が幸せを感じ、やり甲斐を持って働き、多様で優秀な人財が活躍することで、イノベーション創出を促進し、お客様・社会に対する価値創出を目指します。

深く関わるNXグループの創出価値

✓ 社会的価値

私たちの挑戦

施策	取り組み事項
優秀な人財の確保・育成	- グループ経営人財の育成 NEXT PAGE - グローバル人財の確保・育成
Well-beingの充実	- エンゲージメントの向上 - 社員のキャリア支援 - リスキリングによるキャリアの充実
DE&Iの推進	- 女性活躍推進 - 外国籍人財の活躍推進 NEXT PAGE - 障がい者雇用推進 NEXT PAGE - インクルーシブな職場風土の構築

私たちの約束

従業員一人ひとりの強みを活かし、お客様・社会に対する価値創出を目指します

代表的な取り組み事例

イノベーションを生む人財力の向上

日本通運

ロジスティクス専門人財の育成

グローバル市場での事業成長の加速を目指すNXグループにおいて、その実行を担うロジスティクス専門人財は、重要な鍵となります。

日本通運株式会社は、下記の人財育成プログラムを通じて、競争力の源泉となる専門人財を育成し、End to Endのロジスティクスソリューションの提供を加速させています。

Logistics Boot Camp

倉庫オペレーションの設計から継続的改善までのノウハウを習得し、拠点立上げや安定稼働を主体的に推進できる中核人財を育成

Logistics Academy

当社物流センターの業績改善を継続的に推進できる管理者を育成



日本通運 宮崎支店(営業)
窪田 雄一

Logistics Boot Campで学んだ手法とデータ分析を活用し、課題共有とコミュニケーション強化に努めた結果、現場に改善と自律の文化が根付きました。今後も伝播者として改善の文化を広めていきます。

NXグループ

多国籍人財の活躍

NXグループでは、出身地や業務経験など多様なバックグラウンドを持つ従業員が協働しています。例えば、営業活動においては、NXグループが培ってきたやり方をベースに、いろいろな国の出身者や複数の国での業務経験を持つ従業員の知見を生かし、それぞれの持ち味をミックスした良い変化が生まれています。

私が以前複数の外資系物流企業で培ってきたグリーン・ロジスティクスとサステナビリティの面の知見は、社内およびお客様に役立つと確信しています。国内とグローバル人財のナレッジ融合は成功への鍵となるでしょう。



NXキャリアロード

障がい者雇用の拡大

NXキャリアロード株式会社は、全国の支店・事業所に障がい者雇用支援担当者を任命し、障がい者雇用の拡大に取り組んでいます。



NXキャリアロード ビジネスサポート部
尾形 沙智子

障がいを持つ社員がチームの一員として積極的に仕事に参加することで、職場全体の一体感が強まりました。また、異なる視点や意見が尊重される文化が醸成され、社員のエンゲージメントの向上に繋がっています。



人権の尊重と責任ある企業活動の実現

社会の期待

事業に関わる全ての人の基本的な権利を守ることは企業の責任であり、グローバルでサプライチェーンを持つ企業には特に厳しい目が注がれます。

NXグループは、人権の尊重や安全・コンプライアンス・品質に対する価値観を基本とした現場力こそが価値を創り、社会からの信頼を得る土台であると位置づけています。責任ある企業活動をグループ全体で徹底し、お客様や社会から信頼される存在であり続けます。

深く関わるNXグループの創出価値

✓ 環境的価値 ✓ ガバナンス※

※ 3つの創出価値全ての基盤

私たちの挑戦

施策	取り組み事項
コンプライアンスの徹底	- グループ各社におけるグローバル内部通報制度の導入 - コンプライアンス教育の実施  NEXT PAGE - モニタリングの実施
安全・安心の確保	グループでの労働安全の推進  NEXT PAGE
人権尊重への取り組み	- 人権方針および調達方針の策定 - 人権リスクの特定・評価 - 人権リスクの予防・是正 - 人権取り組み推進体制の構築  NEXT PAGE

私たちの約束

責任ある企業活動を徹底し、社会に信頼される存在であり続けます



代表的な取り組み事例

人権の尊重と責任ある企業活動の実現

日本通運

関係会社、協力会社との パートナーシップ安全協議会の実施

日本通運株式会社は、安全・品質に関する関係会社、協力会社とのパートナーシップ安全協議会を1年に1度各支店単位で実施し、サプライチェーン全体でお客様への安全・安心な輸送サービスの提供を徹底しています。



実施の様子

協力会社様
参加者



「安全は全てに優先する」という言葉が心に響きました。安全に無事に輸送を行うことが最大のサービスに繋がると思いました。

NXグループ

サプライチェーン全体での人権尊重の取り組み

NXグループは、人権の尊重を全ての事業活動の前提とし、責任ある事業活動の基盤として、人権方針および調達方針を策定しました。

グループ各社およびそのサプライヤーに対して、人権リスクに関する自己評価アンケートを実施し、調査結果を踏まえた予防・是正に取り組むことで、人権リスクの低減を図るとともに、サプライチェーン全体で持続可能な社会の実現を目指します。

NXグループ

コンプライアンス教育の実施

NXグループは、全グループ従業員に対し、行動指針やコンプライアンスに関する具体的事例を分かりやすくまとめた「NXグループコンプライアンス・ハンドブック」(16言語)を配付し、従業員教育などで活用しています。その他、eラーニング等の研修も実施し、コンプライアンス意識の向上に取り組んでいます。





We Find the Way

発行所：NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

2024年12月13日 初版発行



サステナビリティページ

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/>



社外評価

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/management/>



サステナビリティデータブック

https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/pdf/sustainability/report/NXsustainableDB2024_JP_ALL.pdf

制作にご協力頂いたお客様

アサヒ飲料株式会社様 日清食品株式会社様 日本電気株式会社様

制作委員会

日本通運株式会社 NX商事株式会社 NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社 NXキャリアロード株式会社
NXアメリカ株式会社 NX欧州有限会社 NX国際物流(中国)有限公司 NX南アジア・オセアニア株式会社
株式会社NXワンビシアーカイブズ